

調査研究  
会派（ 研 修 ） 結果報告書  
要請・陳情活動

令和元年 8 月 13 日

会 派 名 政友会  
代表者氏名 山下 守



場 所	青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ 八戸ポータルミュージアム はっち 盛岡手づくり村 INTILAQ 東北イノベーションセンター
期 間	令和元年 8 月 5 日 ～ 令和元年 8 月 7 日
経 費	432,890円
参加者氏名	山下 守 重光 秋治 牧尾 良二
目 的	青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ 「青森ねぶた祭」の運営等について 八戸ポータルミュージアム はっち 八戸ポータルミュージアムはっちの運営等について 盛岡手づくり村 盛岡手づくり村の運営等について INTILAQ 東北イノベーションセンター INTILAQ 東北イノベーションセンターの運営等について
内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)	○青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ 応対者 公益社団法人 青森観光コンベンション協会 専務理事 六角正人氏 ねぶたの家ワ・ラッセ ■■■■ 氏 ねぶたの起源は、奈良時代に中国から渡米した「七夕祭り」と、古 来津軽にあった習俗と精霊送り、人形、虫送りなどの行事とが一体化 して、紙と竹、ローソクが普及されると灯籠になり、それが変化して 人形、扇ねぶたになったと考えられている。 青森ねぶた祭運営は、「青森ねぶた祭実行委員会」を毎年4月1日 に立ち上げられ、運営をしておられる。 運営財源は青森市が6,800万円、参加団体負担金2,500万円、事業 収入が1億5,900万円等で総額約2億5,300万円になるとのことであ る。事業収入の主なもの、観覧席収入が96%の1億5,400万円と なる。ねぶた本体は、ねぶた師に1年前に発注しており、このことが、

<p>内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)</p>	<p>これまで雨が降っても一度もこのねぶた祭を中止できない要因であるようだ。ねぶた本体は、スポンサーからねぶた師に直接注文し、その数22体(地域、子供ねぶたは除く)が登録され、実行委員会で用意しているラッセランドで最終組み立てして完成に至り、一体平均約2,000万円かかるようだ。企業スポンサーは、ねぶた本体には付くが、実行委員会には出資がいただけず、現在は、うちの広告料程度であると聞き及んだ。</p> <p>実行委員会では、こうした市を挙げての事業を後世に伝えるために、伝承育成委員会を実行委員会内に設け、1,900万円の予算付けをして、大型、子供、地域ねぶたに奨励金制度を設け、継承につなげている。</p> <p>観光客の受け入れ体制については、青森市内のホテル部屋数は、10,000室あり、全国からの観光客の宿泊体制は、十二分ではなくとも、近隣の温泉地等もたくさんあり、旅行者の方で、色々趣向を凝らした旅行プランで対応していただいているようで、近年新幹線の開通とともに正装をした多くの跳人(ねぶたについて太鼓、笛に合わせてはね踊る人)にも参加していただき、祭りを盛り立てていただいている。</p> <p>来訪者数は、平成29年度282万人、平成30年度280万人、本年度は昨年以上の来訪者を見込んでおられ、市内のホテル10,000室では到底足りず、県内各地の温泉旅館や近隣市町のホテルも満室状態となっており、経済効果が非常に高いようで、今後の広域連携にも努めていきたいとのことである。</p> <p>今後の青森ねぶた祭は、観覧者の受け入れサービスの充実並びに安心安全な祭運営に努めるほか、近年増加する外国人観光客への案内の充実を図っていく計画のようだ。</p> <p>青森観光コンベンション協会が、青森市の指定管理者として運営する「ねぶたの家ワ・ラッセ」については、5年契約の最終年度となっており、次期指定管理者として、応募に向け、魅力的な施設運営の計画やねぶた文化の伝承、育成に努めているが、破格の入札の噂もささやかれており、今後の行く末が懸念されているようだ。</p> <p>○八戸ポータルミュージアム はっち</p> <p>全国的に中心市街地の空洞化や繁華街がシャッター通りになってしまうなか、八戸市では中心市街地を八戸の「顔」とするため、人々が集い、賑わいのあふれる空間にするために、平成17年に観光交流施設として整備を始めた。</p> <p>以来、平成19年基本設計完了、平成20年実施設計完了、平成23年八戸ポータルミュージアム「はっち」会館、平成29年に総務大臣賞として地域創造大賞受賞、平成30年には八戸まちなか広場「マチニワ」がオープンし、「はっち」の来館者700万人達成となった。</p> <p>これらの足跡を、現地で担当者から詳細に説明を受け、改めてその成功ぶりを実感した。</p> <p>「はっち」は、非常に簡素な建物のように見えるが、設計者によって計算され尽くした空間が創造されている。</p> <p>特に「8」という数字にこだわり、八角形のホール、8段の階段をいたるところに設置し、来館者を飽きさせない工夫が凝らされてい</p>
---	--

<p>内 容 (視察先の現状、東広島市との比較、要請・陳情等)</p>	<p>る。また、貸館事業へも対応するため、明るく使い良さそうな部屋が間取りされていた。</p> <p>○盛岡手づくり村 盛岡地域は、古くから南部鉄器をはじめ、漆器木製玩具等の民芸品、また、南部せんべい、清酒、そば菓子等の食物産業がある。これらの中には、伝統技術の保存、後継者問題、流通体制の立ち遅れなどの諸問題を抱えたものもあり、地域ぐるみの対策が必要とされていた。</p> <p>別な視点では「本物志向」や「手づくり品」への関心が高まり、自らが創作を楽しみたいといった観光客も増加してきた。</p> <p>こういった背景から集合施設を造り、単なる展示にとどまらず、企業としての生産可能な設備、民芸品の体験工房、資料収集施設等を効果的に配置した「手づくり村」が誕生した。</p> <p>異種産業や展示例が相乗効果をもたらし、観光客の誘致滞在化につながっている。</p> <p>○INTILAQ 東北イノベーションセンター 東北震災の後、カタールのフレンド基金 100 億円の内、INTIAQ 東北イノベーションセンターが候補し、12 億円を取得。</p> <p>起業家支援について、ここでは新しいことにチャレンジするという意味で、子供から老人まで利用セミナー等に参加している。特に、こども起業体験は、1 回 25 人、年 4 回行っているが、希望者が多くすぐ定員オーバーになっている。</p> <p>アクセラレーター(社会起業家育成プログラム)の委託を受け、市から年 2,000 万円の補助が出ている。</p> <p>2018 年度は、12 人採択されている 貸し会議室、キッチン、スタジオ等が整備されている。 コアワーキングスペース…10,000 円/月 専用スペース…30,000 円/月 現在 55 社在籍 この施設は、3 年前に 3 億 5,000 万円で作られている。</p>
<p>効果・成果等</p>	<p>○青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ 本市の酒まつりと比較すると、規模が異なりすぎているが、継続していくためには予算の確保が課題である。</p> <p>市の助成、出店する店舗地代、スポンサーもさることながら、観覧席収入のような手法も検討するべきだと考える。</p> <p>○八戸ポータルミュージアム はっち 建物の設計において、これほどまで設計者の意図が感じられる空間創造は、非常に珍しく、総務大臣賞受賞も納得でき、同時に注目すべきものである。</p> <p>また、「マチニワ」において通路にわざと障害物を置いて歩行者を迂回させ、少しでも長く滞在させる趣向がこなされていた点も注目したい。</p>

<p>効果・成果 等</p>	<p>○盛岡手づくり村 本市にも様々な産業、観光資源、知的資源があるので、これらの抱える諸問題の解決や将来への発展性を分析し、時代の流れに沿った新しいまちづくりに取り組むなかで、大いに参考となる事例である。</p> <p>○INTILAQ 東北イノベーションセンター 東北を愛し、地元から発信、起業することをひしひしと感じた。色々なことにチャレンジしていくことの喜び、大切さを伝えていく機関として有意義な施設であると痛感した。 本市においてもイノベーション施設を予定されているが参考にして良いと思える部分がいくつもあった。</p>
--------------------	---

[調査研究]  
会派（ 研 修 ）結果報告書  
要請・陳情活動

令和元年12月27日

会 派 名 政友会  
代表者氏名 山下 守



場 所	津和野町役場 北九州市エコタウンセンター SAKURA MACHI Kumamoto
期 間	令和元年12月23日 ～ 令和元年12月25日
経 費	230,330円
参加者氏名	山下 守 重光 秋治 牧尾 良二
目 的	津和野町役場 バイオマスガス化発電について 北九州市エコタウンセンター リサイクルについて SAKURA MACHI Kumamoto 商業施設及び複合施設について
内 容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)	○津和野町役場 観光地としても有名な地域だが、高齢化とともに人口が減少し、停滞している状況のようだ。 ここは山間部で、森林が90%占めており、災害対応も含め、自治体が協力しながら民間のバイオマスガス発電に計画的に着手している。 令和4年に実行する計画であり、総発電出力量480Kwの熱電併給施設を整備し、FTI売電を行うとともに、発生した熱を隣接する熱利用事業のプラントに供給することとしている。 ○北九州市エコタウンセンター 当センターは、見学者に対して、エコタウン事業の説明や次世代エネルギーパークの紹介を行う施設であるが、同時に各企業の施設見学対応を一括して引き受け、工場見学のアシストを行うことで、各企業の負担軽減に大きく貢献している。このセンターで、当コンビナートや工業団地に入っているすべてのリサイクル企業の詳細な説明が受けられる。 まず、エコタウン事業の説明を受け、一番に驚くことは、「ゴミと資源」の徹底的な分別収集がなされていることである。17種類に分別され、それぞれ当コンビナートにあるリサイクル企業に持ち込まれ処

<p>内容 (視察先の 現状、東広 島市との比 較、要請・ 陳情等)</p>	<p>理されている。</p> <p>また、事業規模の大きさにも驚かされた。</p> <p>投資額累計：833億円（うち、国・県・市 211億円）</p> <p>事業数：27事業、実証研究数：60研究、雇用者数：1,145人</p> <p>各種リサイクル法に対応したもの及び独自に進出したものを合わせ、国内最大級となっている。</p> <p>この事業は、産学官の強力な連携により支えられているもので、「北九州方式3点セット」と呼ばれる3つの柱による総合的な展開がなされている。</p> <p>「教育・基礎研究」においては、北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学大学院、福岡大学大学院等が1つのキャンパスに集まり、環境関連の基礎研究に取り組んでいる。</p> <p>「技術・実証研究」においては、福岡大学資源循環・環境制御システム研究所、九州工業大学エコタウン実証実験センター等により最先端の廃棄物処理技術やリサイクル技術が研究されている。</p> <p>「事業化」においては、総合環境コンビナートにリサイクル工場の集積をし、響リサイクル団地には地元中小のベンチャー企業や自動車解体業者、響灘東部地区にはリサイクル工場、その他の地区にはOA機器や古紙等のリサイクル・リユース工場が配置されている。</p> <p>この総合環境コンビナート、響リサイクル団地、響灘東部地区、その他の地区に入っている各リサイクル業者相互に取引が生まれ、運搬距離が近く、お互いにメリットを見出している点は興味深いところである。</p> <p>これらの企業を後押しする「官」の動きとして「環境産業推進課」を設置し、各種手続きの迅速化、ワンストップサービスに努めている。また、「北九州市環境未来技術開発助成」を行っており、2018年には、8事業者に対して4,500万円の助成実績を出しており、企業にとって大きな力になっていると思われる。財源として北九州市環境未来税という独自課税としている点も注目したいところである。さらには、低い利率の融資制度も設けられており、企業の設備導入を助けている。</p> <p>○SAKURA MACHI Kumamoto</p> <p>熊本城の近くにランドマークとしてオープンした。</p> <p>商業施設、バスターミナル、ホテル、公共施設のホール、保育所及びマンションを併設し、屋上には公園を整備した複合型施設である。</p> <p>本施設は、770億かけて2019年に完成した。</p> <p>60メートルの杭を使い、地震災害時には10,000人の避難施設対応となっている。</p> <p>大胆になおかつ緻密に構成されており、熊本の素晴らしさを痛感した。</p>
<p>効果・成果等</p>	<p>○津和野町役場</p> <p>森林対策が、災害対策の近道であると同時に、豊富な森林を利用し、地域の活性化につなげていく手法は、環境先進都市を目指している本市としても検討に値すると感じた。</p>

効果・成果 等	<p>○北九州市エコタウンセンター</p> <p>これほどの規模のリサイクル事業を本市で行うことは不可能であるが、今後、広域連携によるゴミ処理施設の完成と合わせ、リサイクル品目の照準を絞って試算をしてみる価値は十分にあると思われる。</p> <p>また、このエコタウン事業の展開については、産学官の強力な連携で実施されており、持続可能な自治体の産業振興戦略としては大いに参考となる事例である。</p> <p>特に、本市にも資源として存在する4つの大学や研究所をうまく生かし、産業振興の柱として確立させることが重要と思われる。</p> <p>今後は、会派としてさらに研究を推し進め、本市のゴミと資源活用の在り方、さらには産業振興について執行部への提言につなげていきたい。</p> <p>○SAKURA MACHI Kumamoto</p> <p>本市においても複合施設を予定しているため、今回視察に伺った。規模がかなり異なるが、計画的に造られており、理想的な複合施設であった。</p> <p>複合施設だけを見るのではなく、地域全体を見据えて、この施設はできており、本市においてもぜひ参考にするとところが多々あると感じた。</p>
------------	---